

出水期に備える暮らしと行動指針



新たな気象防災情報～レベル4までに危険な場所から必ず避難を～

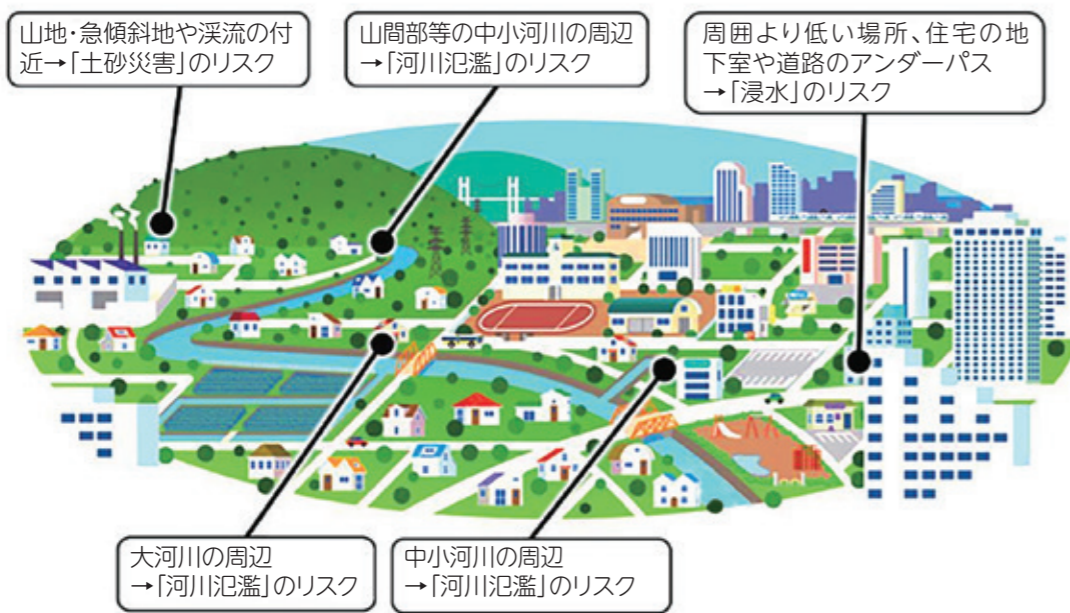
令和8年5月から発表される警戒・注意報の名称にレベル(1,2,3,4,5)が付記されるようになりました。必要な避難行動を示す警戒レベルと気象警戒・注意報のレベルが対応することにより避難判断の目安が明確になりました。

警戒レベル1	警戒レベル2	警戒レベル3	警戒レベル4	警戒レベル5
高める 心構えを 災害への	避難行動を 確認!	危険な場所から 高齢者等は避難	危険な場所から 全員避難!	命の危険 直ちに 安全確保!
早期注意情報	レベル2注意報	レベル3警報	レベル4危険警報	レベル5特別警報
こまめに 気象情報を確認	危険な区域、 避難場所、 避難経路の確認	避難に時間が かかる人は避難	非常持出品を 持ってすぐに避難	立退き避難が 危険な場合は 少しでも 安全な行動を! <small>※警戒レベル5は必ず 発令される情報では ありません。</small>
—	市の発令する 避難情報	高齢者等避難	避難指示	緊急安全確保

※避難情報は必ずしも気象警戒・注意報レベルに応じて発令されるものではありません。避難が必要と感じた場合は高齢者等避難、避難指示等の避難情報の発令がされない場合でも、自主的に避難しましょう。また、避難先は指定避難所に行くことにこだわらず、親戚宅や宿泊施設などの検討もおきましょう。

大雨による災害リスクのある場所

大雨によっておこる災害の種類は場所によって異なるため、それぞれの場所に応じて必要な防災気象情報を活用することが重要です。日頃からハザードマップを活用し、自分が住む地域にどんな危険があるか確認しておきましょう。



■ 問い合わせ／危機管理課 ☎ 088-880-6575

台風や集中豪雨に備えましょう

6月から10月は、台風や集中豪雨などによる水害が発生しやすい「出水期」です。大雨による土砂災害や河川の氾濫、土砂災害は、私たちの生活を一変させる危険性があります。被害を最小限にとどめるために、一人一人ができる事前の備えを確認しましょう!

雨や風が強くなる前に 家の外と中の備えの確認を

ハザードマップを確認しよう!

地域の防災訓練に参加しよう
万が一の時に備えて、お互いに助け合い
励まし合う自主防災組織の活動に参加し
ましょう!

スマートフォンやパソコンをフル充電する

非常用品を確認する

家の外の備え

- 側溝や排水溝を掃除する
- 自動車のガソリンを満タンにする
- 雨戸や網戸を固定する
- 屋根・雨どいの点検
- 庭木やプロパンガス、テレビアンテナがしっかり固定されているか確認する
- 窓ガラスに飛散防止フィルムを貼る
- 屋外のものを家の中に戻す

家の中の備え

- 水を確保する

屋根・雨どいの点検

屋根や雨どいの破損、詰まりがないか確認しましょう。外壁を伝って雨水が流れ落ちることで、外壁や基礎部分の腐食を引き起こす場合があります。屋根は無理に登らず下から見て瓦のズレや破損を確認して、心配なら専門業者に点検依頼を!

側溝・排水溝の清掃

家の前の側溝が詰まっていると、道路が冠水し自宅への浸水リスクが高まります。落ち葉や泥を取り除き、水がスムーズに流れているか雨の日に確認してみましょう。

家の周辺・ガソリンのチェック

植木鉢やごみ箱、ベランダの物干し竿など、強風で飛びそうなものは固定するか屋内へ。自動車のガソリンを満タンにしておくなどの備えを!

停電・断水への備え

ライフラインの停止に備え、最低3日分の備蓄(飲料水・非常食・簡易トイレ・燃料など)を用意しましょう。モバイルバッテリーや懐中電灯の点検も忘れずに!

ハザードマップの確認

危険な場所から避難するため、どこが危険なのかを確認することが大切です。ハザードマップで、自宅や通勤・通学先の災害リスクを確認し、避難路をいくつか確認しておきましょう。ハザードマップは下記の二次元コードで確認、または危機管理課で配布しています。

洪水ハザードマップ

南国市防災ポータルサイトの運用を開始しました!

ホームページのトップ画面の **防災・災害情報** か、下部のバナーが入口です!

南国市
防災ポータル

南国市の災害情報はこちらからご覧ください!

